

# 【添付資料】 ワークショップについて

～ 4回の流れと1回目の取り組み内容 ～

## ワークショップの各回の概要

# ワークショップは1回目から4回目に向けて段階的に内容を深め 本年度のゴールである企画案の作成を目指して進行する予定

11/2

### ワークショップ 1回目

- 事務局側で目的と課題の事例題材を決めて、その**データ分析やダッシュボード作成などを体験**いただく。  
その後、自身の課題や仮説に対して、**データ分析・ダッシュボード化の実践**を行う。

11/27(予定)

### ワークショップ 2回目

- グループで目的と課題設定いただき、**仮説構築にトライ**いただく。  
そして、仮説についてデータ分析を実施し、**ダッシュボード化したものを発表して共有**していただく。

12/27 (予定)

### ワークショップ 3回目

- 前回の仮説の妥当性を検証しながら、データを活用して**仮説のブラッシュアップ**を行う。  
その結果を発表して共有いただきながら、**仮説や分析結果に対してフィードバック**をもらう。

1/22(予定)

### ワークショップ 4回目

- 3回目までの成果を元に、**次年度以降に向けた施策や事業プランの企画内容に仕上げ**ていただく。  
目的・背景、課題、仮説、分析結果、対策案という内容で**発表**いただく。

### 準備予定の説明資料（案）

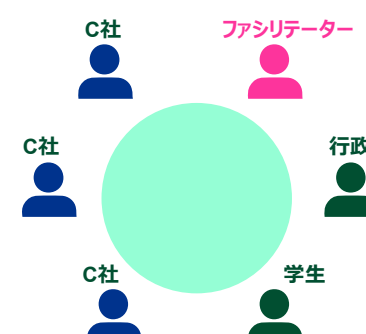
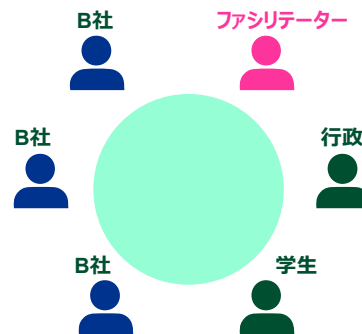
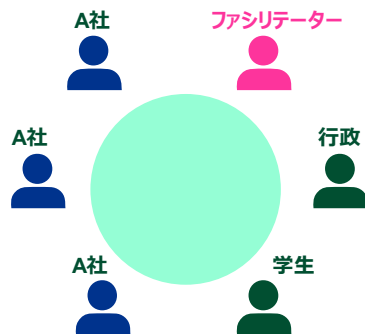
- QGISの基本操作方法
- 各用語集
- 目的・課題・仮説の事例集の整理（ビッグデータ活用事例から）

## ワークグループの組成の考え方

# ワークショップのグループ組成は、多様な意見・考え方・視座/視点の共有を目的に、産官学（民）が混在する構成を予定

### グループ組成（最大30名の場合のイメージ）

- グループごとに3社＋行政＋学生の産官学のメンバー混成（1テーブルにつき6名、計5テーブル）
- 各グループごとにファシリテーター（KPMG）を準備
- 講師は、相原先生、宮代様
- 講師からは各ワークショップの目的・ワークの内容を説明いただきながら、各グループのフォローや発表時のアドバイス等をいただく



相原講師



宮代講師



## 1回目のサマリ

グループ単位に対面式で座っていただきながら、QGISの基本的な操作方法から学び、参加者間で気軽に相談し合えるような場を構築  
講師とファシリテーターが場に交わりながら進めていく

13:00~14:00

休憩

14:10~15:10

休憩

15:20~16:30

### <QGISの基本的な操作方法の実践>

- OpenStreetMapの表示 & 座標参照系の修正
- バスルートの表示
- バス停の表示
- 小学校区の表示
- レイヤ操作
- 125mメッシュの表示 (ブログウォッチャーのデータのメッシュ)
- ブログウォッチャーのデータの取り込み
- 色の層別設定、見せ方
- 今見ているデータのエクスポート (表形式、CSV)

### <相原先生・宮代様にヒントや気づきをいただきながらグループワークで進めていただく>

- 仮説設定とデータ準備のトライ
- “肌感としてある課題”の言語化 (ex. 午前の移動は高齢者が多く、自動車による移動が大半である)
- 仮説に関するデータの洗い出し方 (静的な区割りや建物など、動的な人流データや天候、経済動向など)
- データ分析とダッシュボード化
  - フィルタ
  - データ関連付け
  - 比較グラフ

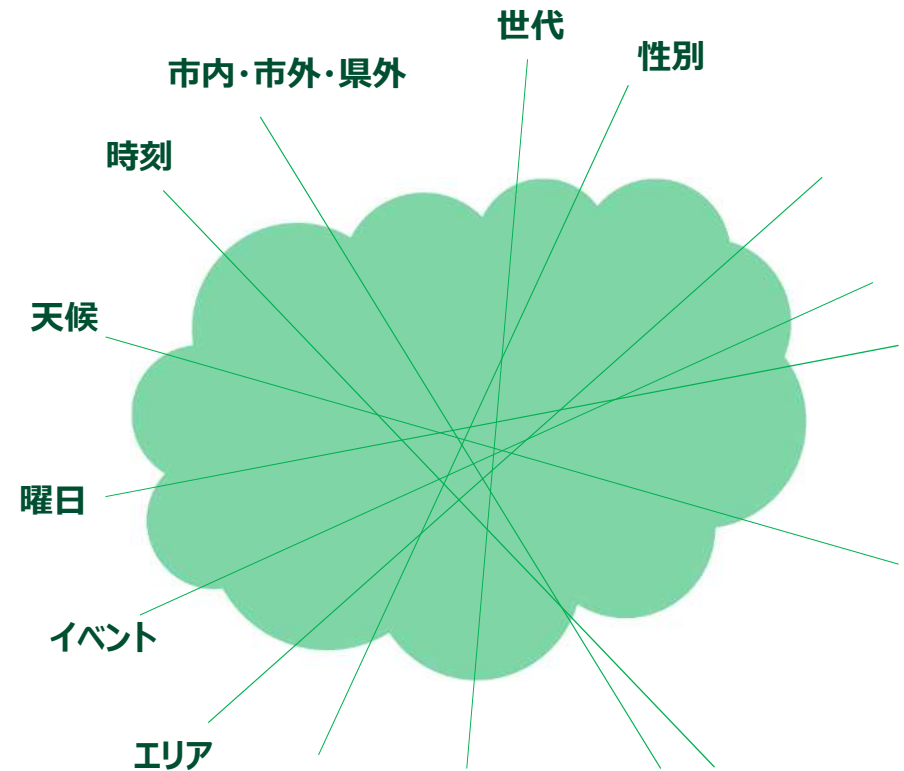
## 1回目 データ分析のトレーニングについて

# 様々な切り口の組み合わせ方や、不足するデータの補完方法、分かりやすい表示方法や他の手段・ツールとの掛け合わせ方法などを学んでいただく予定

### 課題・仮説に対する分析観点（例）

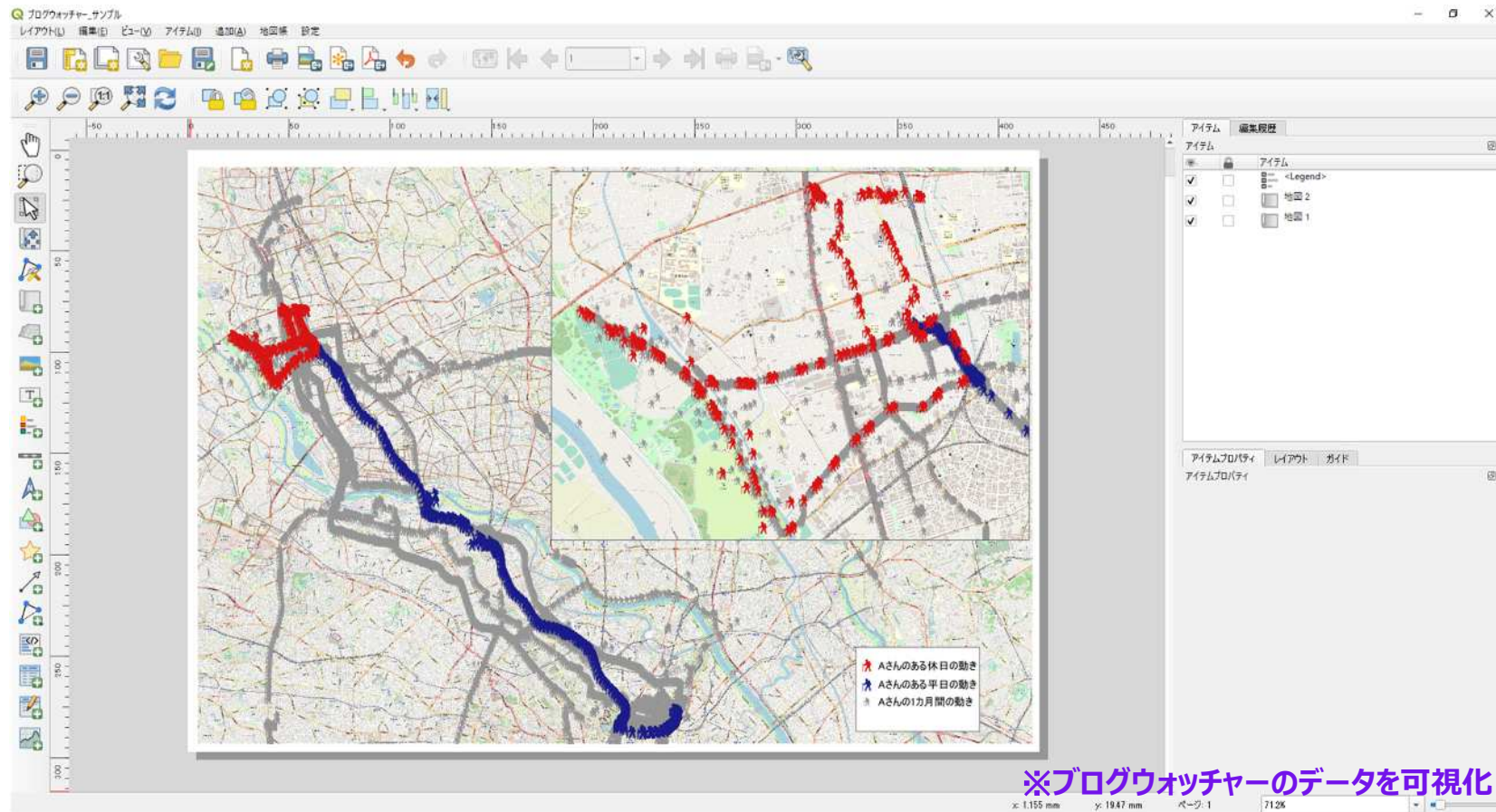
- 属性別にどのエリアにどの時間、どう動いているか？  
（ノード・エッジのグラフ、滞留点での分析）
- 個人(hash\_adid)ごとに1日の移動トレース
- バスのルートとの移動経路の比較
- 県外、市外からの来訪者の行動パターンの比較  
POI(Point of Interest)、カテゴリ比較、回遊パターンの違い
- 人気のお店やスポットの前後はどこに立ち寄っているか？  
OpenStreetMapからスポット座標を取り出す。
- 週末や雨が降った日・イベントの日の傾向と比較してみる
- GBFS(General Bikeshare Feed Specification)と重ねてみる

### 分析にあたっての切り口

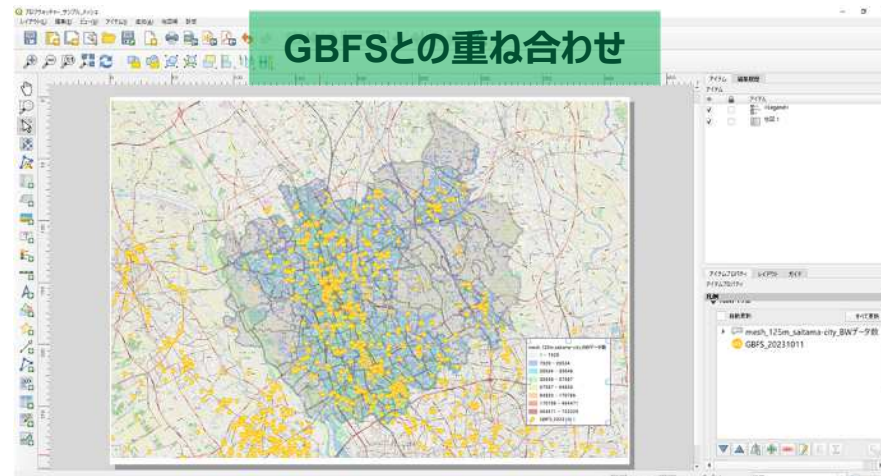
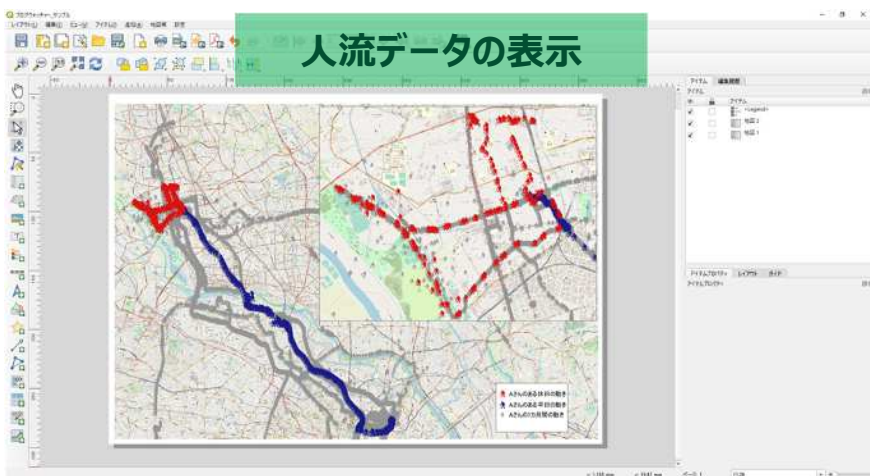


## QGISの基本操作パートでの学習例（データ解析イメージ）

# 事例) 性別・年代・居住地(市内・市外・県外)の属性が付いた匿名個人の行動パターンをトレース



# QGISの基本操作パートでの学習例（データ解析イメージ）



## 【参考】今回準備する人流データの仕様

# 個人を匿名化した管理IDで行動ログと属性が関連付けられている

### 行動ログデータ

フィールド名	内容	補足
hashed_adid	個人の管理ID	
datetime	記録日時	
latitude_anonymous	汎化加工済み緯度	個人宅等が特定されないような座標に汎化されている
longitude_anonymous	汎化加工済み経度	
accuracy	座標の確度/精度	座標からのズレ距離
mesh	125mメッシュID	

### 属性データ

フィールド名	内容	補足
hashed_adid	個人の管理ID	
gender	性別	1 (男性) 2 (女性) 空欄 (不明)
age	年齢層	10歳ごとの年齢層
flag	居住地フラグ	1 (さいたま市民) 2 (埼玉県民かつさいたま市民以外) 3 (埼玉県民以外) 空欄 (不明)